

白内障と緑内障の同時手術のお知らせ

近年、緑内障の治療用に眼球の中やその周囲に人工物を埋め込む治療が行われています。より小さなチタン製の「iStent(アイ ステント)」というインプラントを目の中に埋め込む緑内障の治療が厚生労働省から認可されました。

- ・「アイ ステント」は長さ1mmのチタン製インプラントです。中が空洞になっています(下図)。
- ・眼球の壁の隅角^{くうかく}と呼ばれる黒目と白目の境目に設置されます。
- ・「アイ ステント」が機能すれば、目の中の水の流れが改善し、眼圧が低下、安定することが期待されます。
- ・手術後に眼圧が下がることで、緑内障治療用の点眼薬の数を減らせる可能性があります。

【適応と作用】

- ・視野障害のある緑内障と白内障がある患者様が対象となります。
- ・効果は緑内障の目薬1種類を毎日点眼しているのと同程度と報告されています。
- ・緑内障の手術はいくつか方法がありますが、安全性が高い手術と考えられています。
- ・適応には、緑内障のタイプや進行度、眼圧などにより、手術適応にならない場合があります。
- ・日本での手術では、白内障手術と同時手術のみ埋め込み可能です。後日にこのインプラントは使用できません。

*健康保険が適応されます。

*白内障手術で目の中にインプラントされる人工眼内レンズの主流はアクリル素材です。

詳細は受診の際にお尋ね下さい。

